患者向医薬品ガイド

2025年1月更新

オルケディア錠1mg
オルケディア錠2mg
オルケディア錠4mg

【この薬は？】

販売名	オルケディア錠1mg ORKEDIA TABLETS 1mg	オルケディア錠2mg ORKEDIA TABLETS 2mg	オルケディア錠4mg ORKEDIA TABLETS 4mg
一般名	エボカルセト Evocalcet		
含有量	1錠中 エボカルセト1mg	1錠中 エボカルセト2mg	1錠中 エボカルセト4mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、カルシウム受容体作動薬と呼ばれるグループに属する薬です。

・この薬は、副甲状腺細胞表面のカルシウム受容体に作用することにより、副甲状腺ホルモンの分泌を抑えます。

・次の病気の人に処方されます。

〇維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症

〇下記疾患における高カルシウム血症

・副甲状腺癌

・副甲状腺摘出術不能又は術後再発の原発性副甲状腺機能亢進症

・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。
・過去にオルケディアに含まれる成分で過敏症のあった人
・妊婦または妊娠している可能性がある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
・低カルシウム血症の人
・肝臓に障害がある人
・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○この薬を使用する前に、血清カルシウム濃度などを確認するために、血液検査が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〈維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症〉

	開始量	維持量
１日量	１～２ｍｇ	１～８ｍｇ
飲む回数	１日１回	１日１回

・１回８ｍｇを服用しても効果不十分な場合には、１回１２ｍｇまで増量されることがあります。

〈副甲状腺癌における高カルシウム血症、副甲状腺摘出術不能又は術後再発の原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症〉

	開始量	維持量
１日量	２ｍｇまたは４ｍｇ	２～２４ｍｇ
飲む回数	１日１回または２回	１日１回～４回

●どのように飲むか？

水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して２日分を一度に飲まないでください。気がついた時に、できるだけ早く飲

み忘れた分（１日分）を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は飲み忘れた分をとばして、次の日に１日分を飲んでください。

●多く使用した時（過量投与時）の対応

低カルシウム血症（指先や唇のしびれ、けいれん）があらわれる可能性があります。異常を感じたら、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

〈効能共通〉

・この薬の使用により低カルシウム血症（指先や唇のしびれ、けいれん）があらわれることがあります。低カルシウム血症があらわれたり、あらわれるおそれがある場合には、この薬の飲む量を減らしたり、カルシウム剤やビタミンＤ製剤を飲むことがあります。

・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。

・この薬を使用中に妊娠が判明した場合は、ただちに使用を中止し、医師に相談してください。

・授乳している人は医師に相談してください。

・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

〈維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症〉

・この薬の使用中には、血清カルシウム濃度、副甲状腺ホルモンを確認するために、定期的に血液検査が行われます。

〈副甲状腺癌における高カルシウム血症、副甲状腺摘出術不能又は術後再発の原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症〉

・この薬の使用中には、血清カルシウム濃度を確認するために、定期的に血液検査が行われます。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
低カルシウム血症 ていかるしうむけっしょう	指先や唇のしびれ、けいれん
ＱＴ延長 きゅーてぃーえんちょう	めまい、動悸（どうき）、気を失う

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	けいれん
頭部	めまい、気を失う
胸部	動悸
手・足	指先や唇のしびれ

【この薬の形は？】

販売名	オルケディア錠 1mg	オルケディア錠 2mg	オルケディア錠 4mg
ＰＴＰシート			
形状	フィルムコーティング錠	フィルムコーティング錠	フィルムコーティング錠
直径	7.2mm	7.2mm	7.2mm
厚さ	3.3mm	3.3mm	3.3mm
重さ	139mg	139mg	139mg
色	黄白色	淡黄色	黄赤色
識別コード	KH601	KH602	KH603

【この薬に含まれているのは？】

販売名	オルケディア錠 1mg	オルケディア錠 2mg	オルケディア錠 4mg
有効成分	エボカルセト		
添加剤	黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ、クロスカルメロースナトリウム、結晶セルロース、酸化チタン、ステアリン酸マグネシウム、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、D-マンニ		黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ、クロスカルメロースナトリウム、結晶セルロース、酸化チタン、三二酸化鉄、ステア

	トール、その他２成分	リン酸マグネシウム、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、D-マンニトール、その他２成分

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：協和キリン株式会社（https://www.kyowakirin.co.jp/）
くすり相談窓口
電話：０１２０－８５０－１５０
受付時間：９時～１７時
（土・日・祝日及び弊社休日を除く）